

# 教育用コンテンツの提供にご協力を！



光田 憲朗\*

日本太陽エネルギー学会（略称JSES）の会員の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。2年近くに及ぶ新型コロナが早期に収束し、本年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心より祈念申し上げます。

昨年も、一昨年と同様に、コロナ禍の中、会員の皆様は大変な思いをされたかと思えます。生物なのかどうかも怪しい新型コロナウイルスが、生き残りをかけて変異を繰り返し、高度なはずの人間社会を破壊し、混乱の渦の中に巻き込んでしまいました。でも、現代の通信技術が、テレワークといった働き方を可能にし、孤立するのを防いでくれました。本学会も各種委員会でのオンライン会議や研究発表会のオンライン開催など、一昨年に引き続き会員皆様方の暖かいご支援とご協力により、無事年を越す事ができました。普段会うことが難しい遠方の役員ともオンラインで自由に意見交換する機会が増えて、本学会関係者の絆を高めることもできました。

一方、世の中は、コロナ禍にあっても二酸化炭素削減を進めないと大変なことになるとの認識が広く共有され、2050年の【カーボンニュートラル】実現に向けて大きく前進しています。

ご存知のように、本学会は、太陽光発電や太陽熱だけでなく、以下の7分野の専門家が集まって熱い議論ができる貴重な学会です。①光発電分野、②熱利用・冷暖房給湯分野、③パッシブ・低エネルギー建築分野、④バイオマス・農業利用分野、⑤光化学・電気化学分野、⑥気象・地球環境・風力・波力・その他の分野、⑦各種実用化技術分野。これぞ、まさしく【カーボンニュートラル】実現のカギとなる分野です。

このような背景もあって、本学会では、須永修通前会長が提案し、候補した委員による【教育委員会】（現在、川崎憲広委員長、吉永美香副委員長ほか7名）を立ち上げました。長期的な視点に立って、小中学生～大学教養課程を対象に、再生可能エネルギーに関する教育のための動画やパワーポイントなどのツール（以下、【教育用ツール】）を作成し、無償で提供するなど、カーボンニュートラルの実現のため、これからこの分野で活躍いただける若い世代の知識やモチベーションを高めるための活動を開始しています。

この活動では、小中高校の学校の先生に、授業のため

の動画やパワーポイントなどを提供するほか、本学会員が、ボランティアで、小中高校に出かけて行って、【カーボンニュートラル】の重要性やそのための技術開発の重要性をやさしく授業して、2050年の【カーボンニュートラル】実現に大いに貢献してもらえる若い世代を育てたいと考えています。

そこで、会員の皆様をお願いなのですが、皆さんがご持ちの【教育用ツール】に使用できる写真やイラスト、図表など、さらには皆様がお使いの【教育用ツール】を提供いただけないでしょうか？

提供いただいたものは、学会で吟味させていただいた上で、小中高のレベル分けなど、目的に応じて、編集（変更）して、使用させていただく予定です。

著作権の問題があると思いますが、本学会では、学会誌の掲載記事や研究発表会の要旨集など、基本的に著作権は、本学会に譲渡いただくのではなく、提供者に置いたまま、本学会は【編集著作権】をいただいて運用することになっています。著作権を学会に譲渡されると、執筆者が、本学会誌等に掲載されたご自分の図表を書籍などに掲載する際に、本学会に掲載許可を取って、その書籍の出版社に提出しなければならないなどの手間を省くためです。【教育用ツール】および写真・イラスト等についても同様の扱いにさせていただきたいと思えます。ご提供いただいたコンテンツには、提供いただいた方のご所属・お名前を記載するようにいたしますが、それらは、万が一にも、他人の著作権を侵害していないことを確認ください。（万一、著作権侵害で訴えられた場合は、著作権者である提供者の責任になってしまいます。）

詳細は、本学会誌で【教育委員会】からのお願い、という形で掲載されることになっていますが、2050年の【カーボンニュートラル】実現に向けて、本学会は、小中高の先生方と協力させていただくことで、これから次世代技術を担う若い世代の教育に、是非とも役立ちたいと考えております。また、そのようなことが可能な学会であると考えます。

会員皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

\* 一般社団法人日本太陽エネルギー学会会長  
三菱電機 先端技術総合研究所 技術顧問